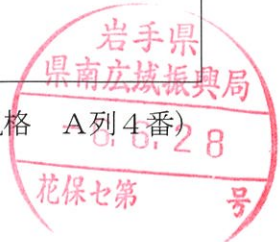


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 28日	
岩手県知事 達増拓也 殿	
提出者	
住 所	岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5
氏 名	イーエヌ大塚製薬株式会社 花巻工場 工場長 石ヶ森 誠広
電話番号	0198-26-5261
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	イーエヌ大塚製薬株式会社
事業場の所在地	岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医薬品製剤製造業
② 事業の規模	売上高 174億4900万円
③ 従業員数	320人 (2024年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

生産本部長 — 環境管理責任者 — 環境管理事務局（廃棄物担当者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 動植物性残渣：製品試作は計画に沿って実施し、環境負荷の少ないバイオマス発電業者への取引量を拡大した。		
② 計画	【目標】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 動植物性残渣：製造工程の安定化改善を推進し、発生を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック：汚損のないものを分別し、有価物として回収している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック：更なる分別を推進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う再生利用は無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う中間処理は無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う埋立処分又は海洋投入処分は無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り、再生利用業者を優先して委託した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) なし。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和6年6月28日

産業廃棄物処理計画書

1. 会社の概要

(1)会社名

イーエヌ大塚製薬株式会社

(2)資本金

15 億 1 千万円

(3)従業員数

419 人

2. 当該事業場において現に行なっている事業の概要

(1)従業員数

320 人

(2)売上高

174 億 4900 万円 (2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日)

(3)製造概要

当工場では医薬品の経腸栄養剤を製造している。

(4)工場配置図

図 1 参照

(5)製造フロー、用排水浄化フロー

図 2,3,4 参照

(6)廃棄物処理フロー図

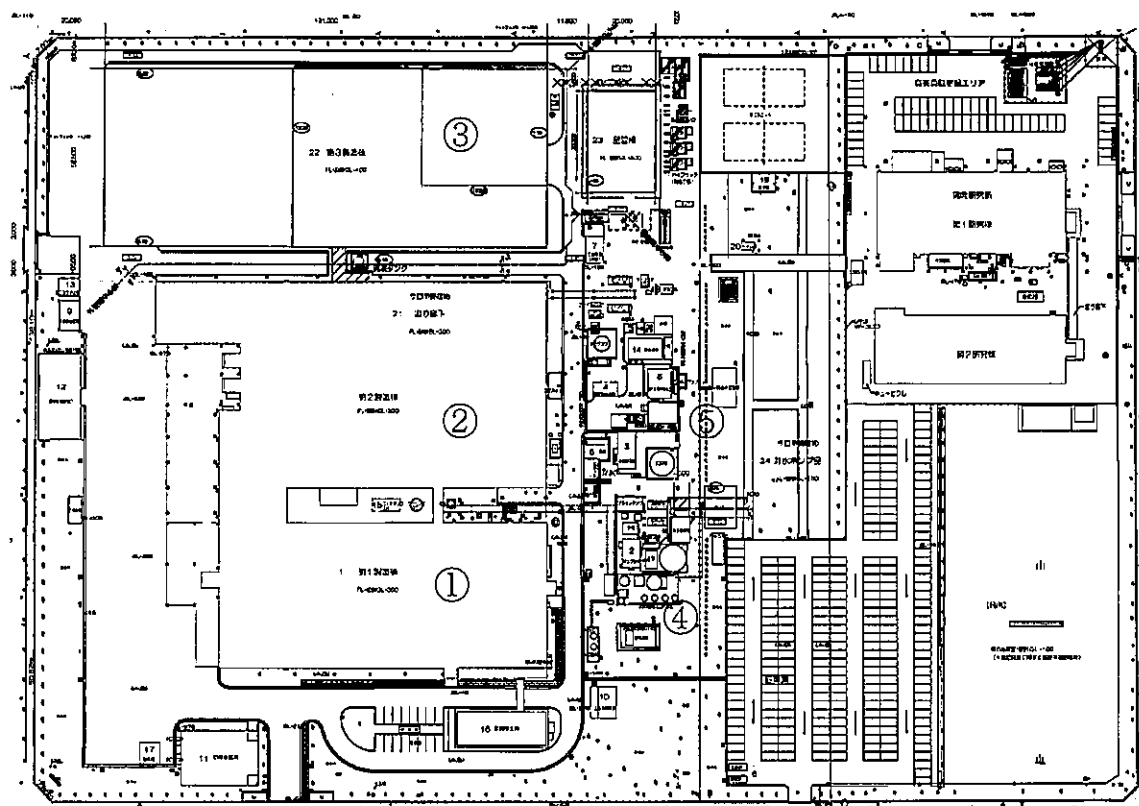
図 5 参照

(7)連絡先

担当者：イーエヌ大塚製薬株式会社

生産本部 花巻工場 工務課 小原考英

電話番号：0198-26-5265



①第一製造棟 ②第二製造棟 ③第三製造棟 ④用水処理設備 ⑤排水処理設備

図1 工場配置図

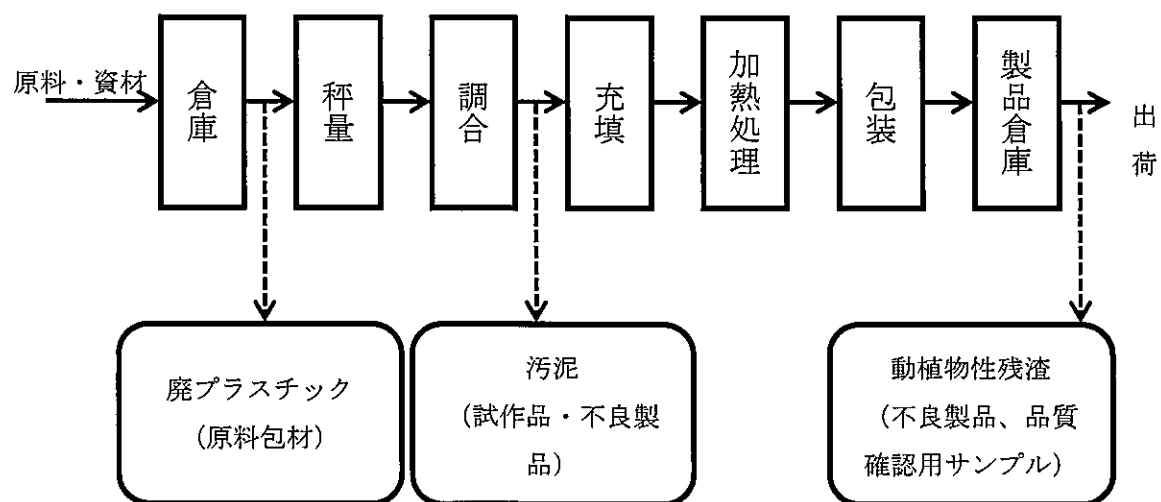


図2 経腸栄養剤製造フローシート

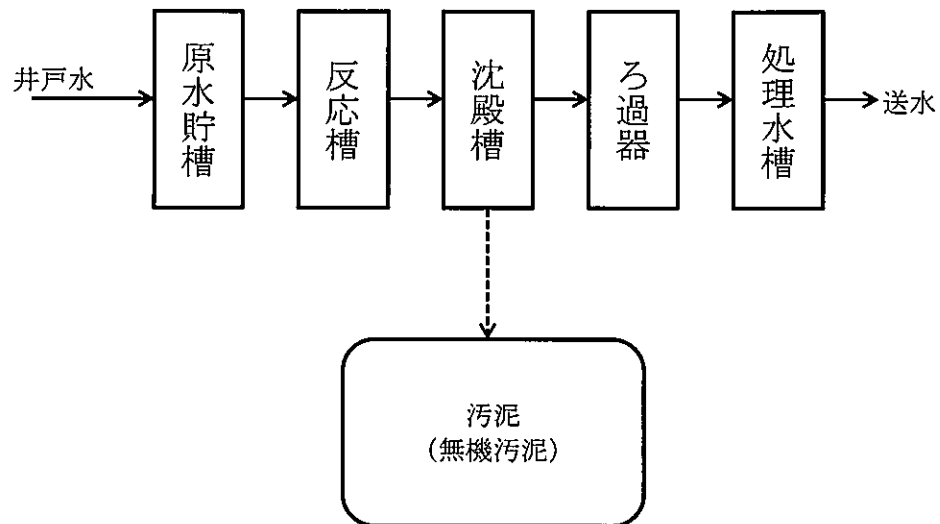


図 3 用水処理フロー

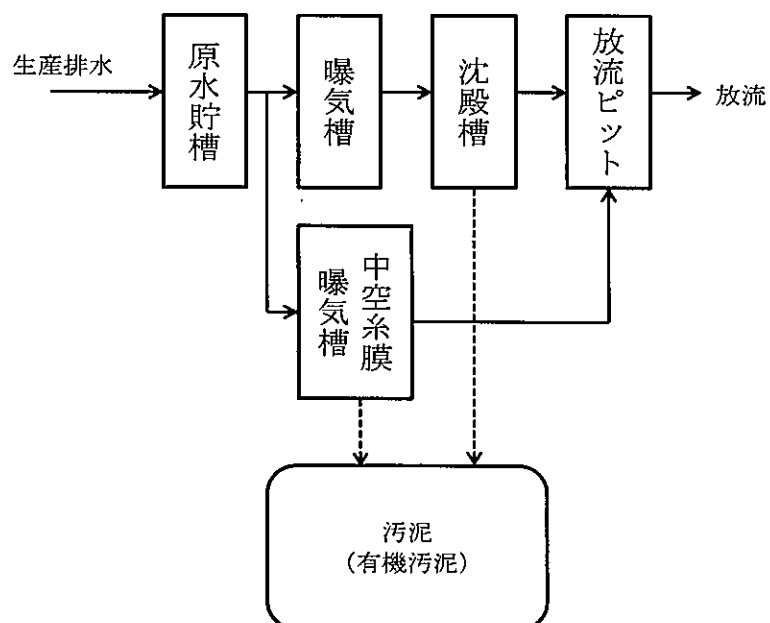


図 4 排水処理フロー

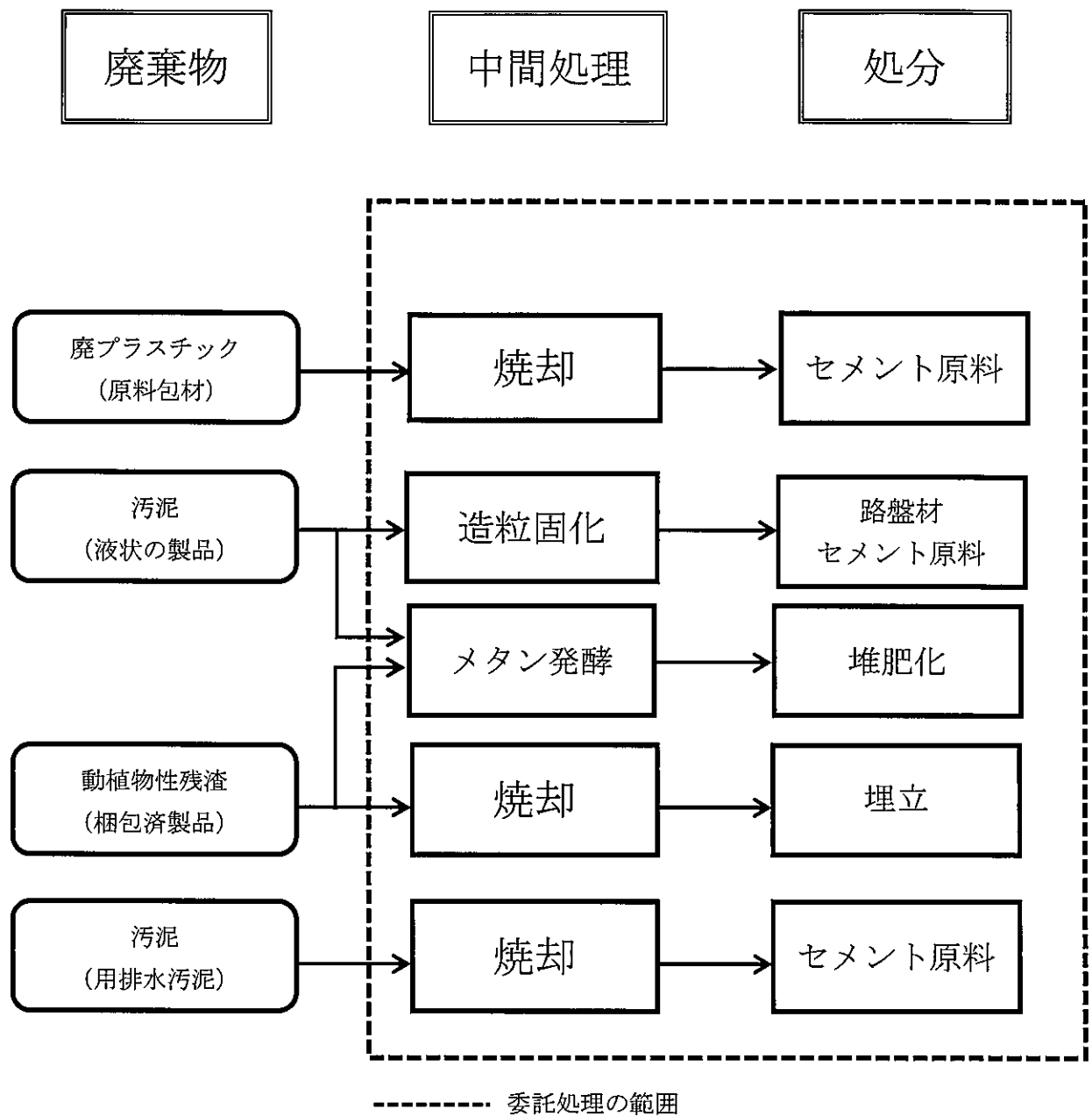


図 5 廃棄物処理フロー図

3. 計画期間

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

4. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1)担当者・責任者

担当者・責任者	役割
生産本部長	・ 委託契約の締結 ・ 処理業者の選定
花巻工場長	・ 監督官庁への各種報告
環境管理責任者	・ 廃棄物処理計画の作成 ・ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・ 処理業者の調査 ・ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ・ 法的要求事項の順守評価 ・ その他関係する事項
環境事務局（廃棄物担当）	・ 環境管理責任者の補助 ・ 廃棄物回収手配 ・ 廃棄物管理表の交付・管理
環境推進委員	・ 各部署内での教育
特別管理産業廃棄物管理責任者	・ 廃棄物の保管管理
産業廃棄物管理責任者	・ 廃棄物の保管管理

(2)教育

発生する廃棄物の管理・分別方法を文書化し、従業員に周知する。

5. 廃棄物の処理に関する事項

(1)基本的事項

- ①産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。
- ②発生した産業廃棄物の処理を処理業者に委託する場合、収集運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する。
- ③最終処分量の削減、再生利用の拡大等について、数値目標及びその達成時期を定め実行する。また、これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。
- ④廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また、関連会社にも必要な指導を

行う。

発生抑制：発生抑制を考慮した製造方法を検討する。

工程改良を推進し、不良製品を削減する。

再生利用：資源化、発電・燃料利用を推進する。

再生利用ルートを確保する。

その他：処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。

特別管理産業廃棄物の適正処理を確保する。

(2)廃棄物処理の現状と課題

当工場から排出される産業廃棄物は主に排水処理汚泥、試作・製品不良としての汚泥、包材等の廃プラスチック、包装済み廃棄製品としての動植物性残渣に分けられる。また、少量ではあるが品質試験工程から排出されるガラスくず、及び特別管理産業廃棄物（試薬、廃液類）等がある。

産業廃棄物の種類別処理状況と課題を以下に示す。

産業廃棄物の種類別処理状況（令和5年度実績）

種類		発生量	処理方法（全て委託）
汚泥	用排水汚泥	471.0t	焼却→セメント原料化
	試作・製品不良	130.0t	造粒固化→路盤材原料化 メタン発酵・発電→堆肥化
廃プラスチック	包材等	46.3t	焼却→セメント原料化
廃プラスチック	資材等	1.4t	破碎→焼却→埋立「管理型」
動植物性残渣	製品不良・品質試験	38.0t	焼却→埋立「管理型」
動植物性残渣	製品不良・品質試験	470.0t	メタン発酵・発電→堆肥化
ガラス屑	品質試験	6.6t	破碎→再資源化
金属屑	機器等	0.3t	破碎→再資源化
廃油	機械油	1.4t	油水分離→再生油
廃油	廃原料	0.2t	焼却→埋立「管理型」
特別管理 産業廃棄物	品質試験	16.1t	中和→焼却→セメント 原料化又は埋立
合計	—	1181.3t	—

産業廃棄物処理の課題

発生抑制	・製造工程トラブルによる汚泥、動植物性残渣の排出量が多い。
------	-------------------------------

6. 産業廃棄物の排出の抑制及び再生利用による排出量削減計画に関する事項

種類		発生量 (令和5年度)	計画量 (令和6年度)	具体的取り組み
汚泥	用排水汚泥	471.0t	450.0t	水使用量を削減し汚泥の減量化を図る
	試作・製品不良	130.0t	105.0t	製造手順の整備と生産工程改良によりトラブルを抑制する。
廃プラスチック	包材等	47.7t	47.0t	廃プラスチックの有価物への分別を推進する。
動植物性残渣	製品不良・品質試験	508.0t	200.0t	製造手順の整備と生産工程改良によりトラブルを抑制する。
ガラス・コンクリート屑	品質試験	6.6t	10.0t	—
金属屑	機器等	0.3t	1.0t	—
廃油	廃原料	1.6t	1.0t	製造手順の整備と生産工程改良によりトラブルを抑制する。
特別管理産業廃棄物	品質試験	16.1t	16.0t	—
合計		1181.3t	830.0t	

7. 産業廃棄物の分別に関する事項

- ・分別手順書の周知徹底により、再資源化量を確保する。
- ・廃プラスチックの有価物品目の拡大により廃棄物の削減を図る。

以上

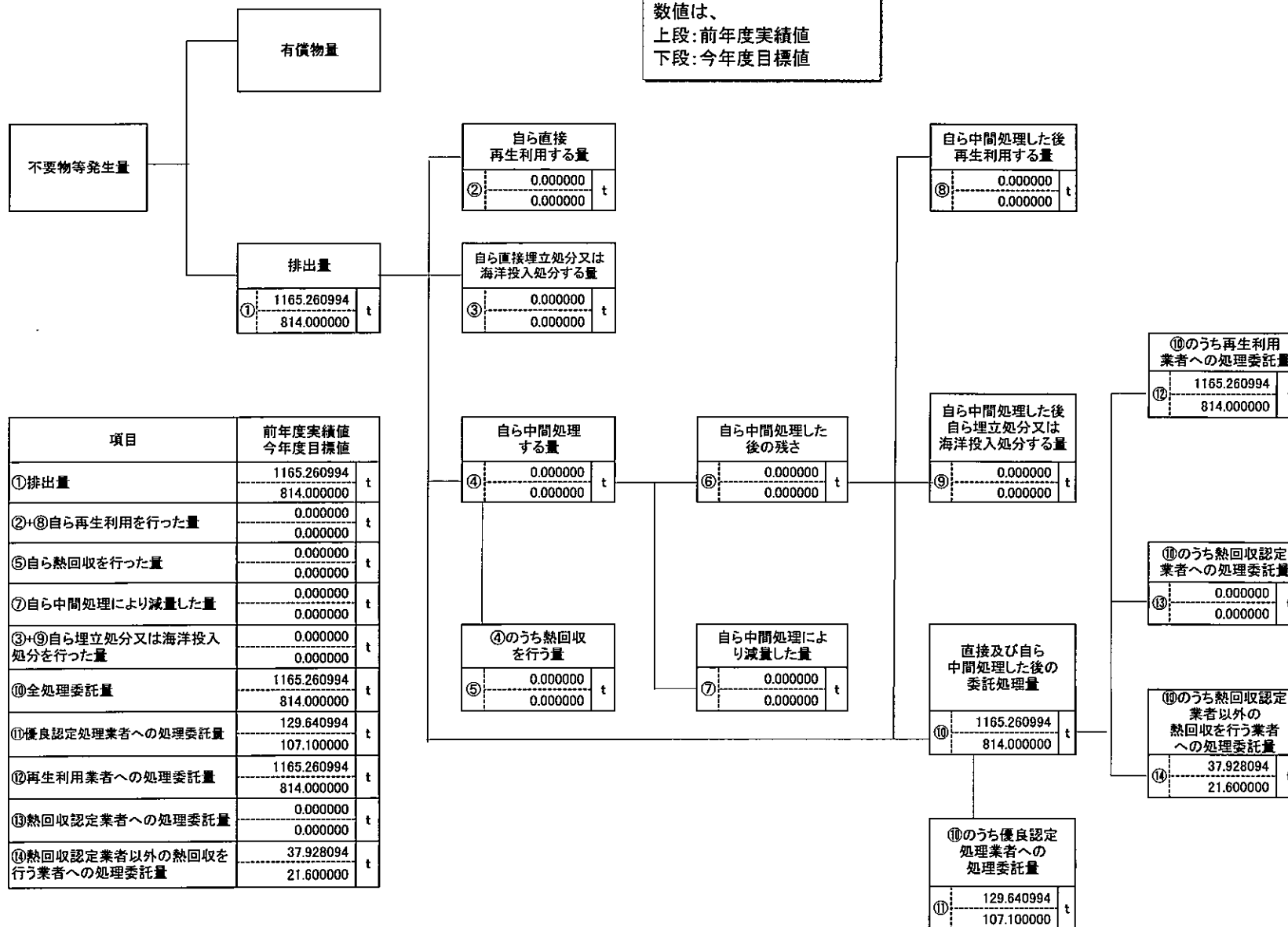
【別紙1】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:

全体

)

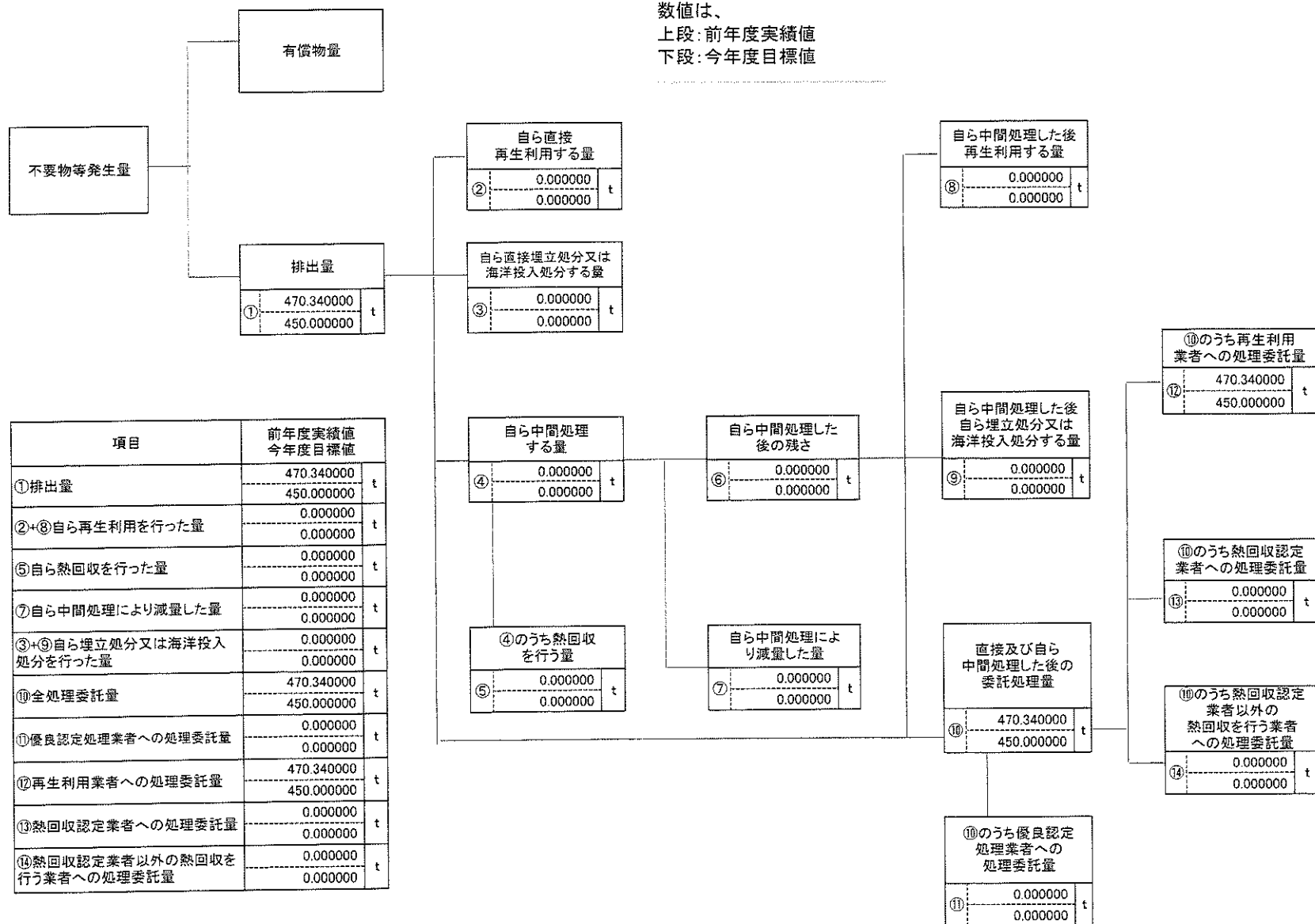
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙1】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:汚泥(排水汚泥))

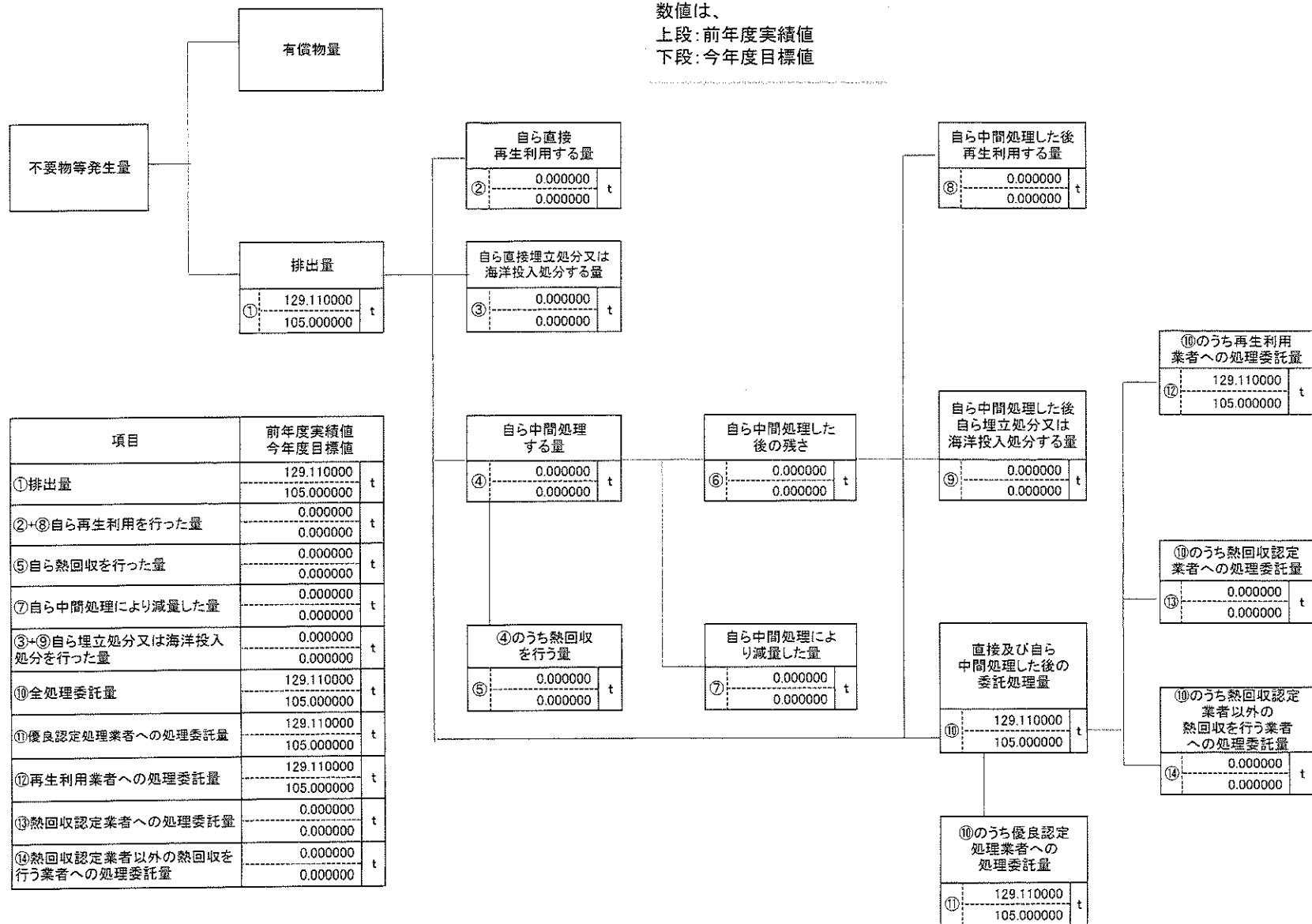
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:汚泥(ミックス))

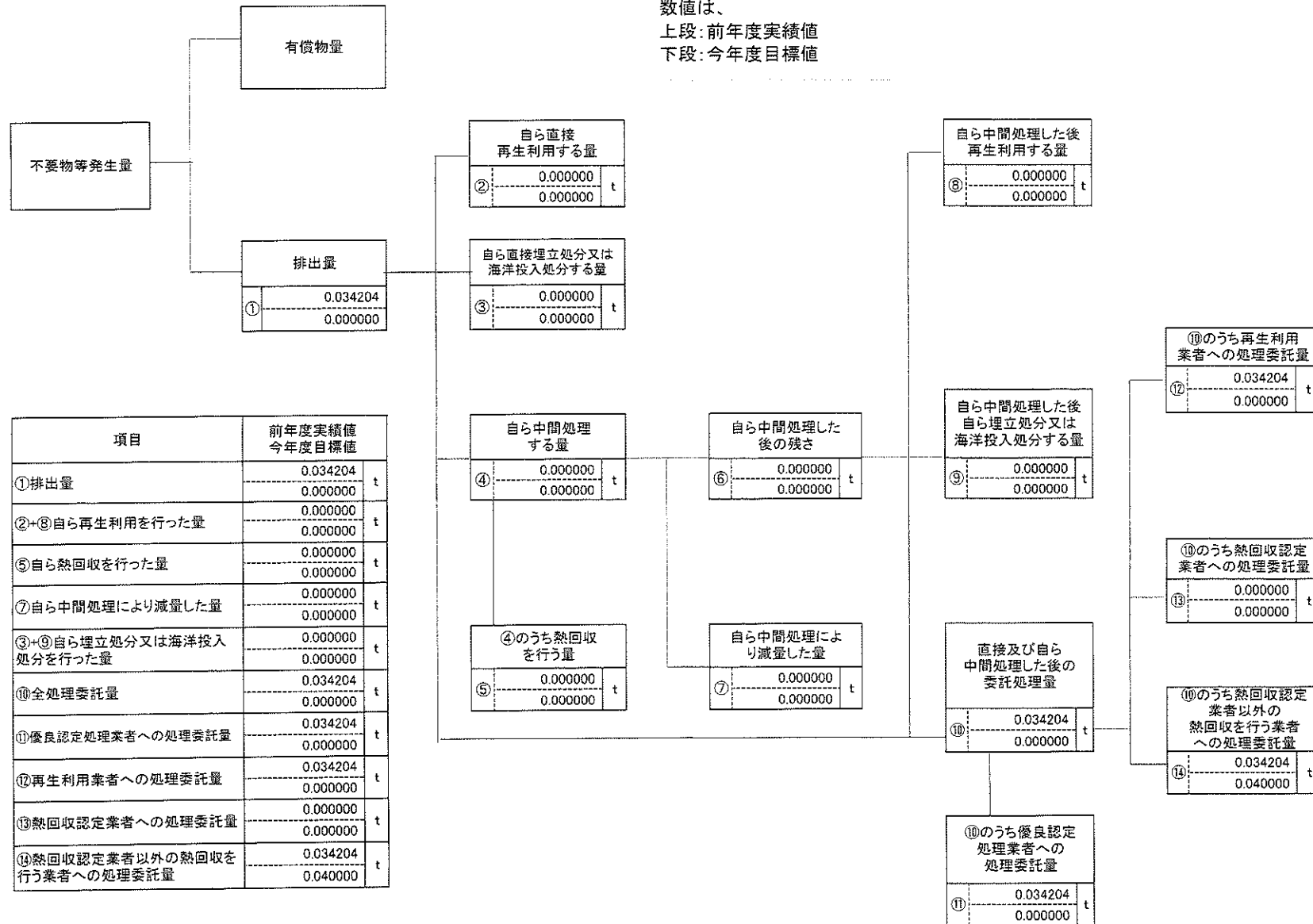
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙3】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:汚泥(試薬))

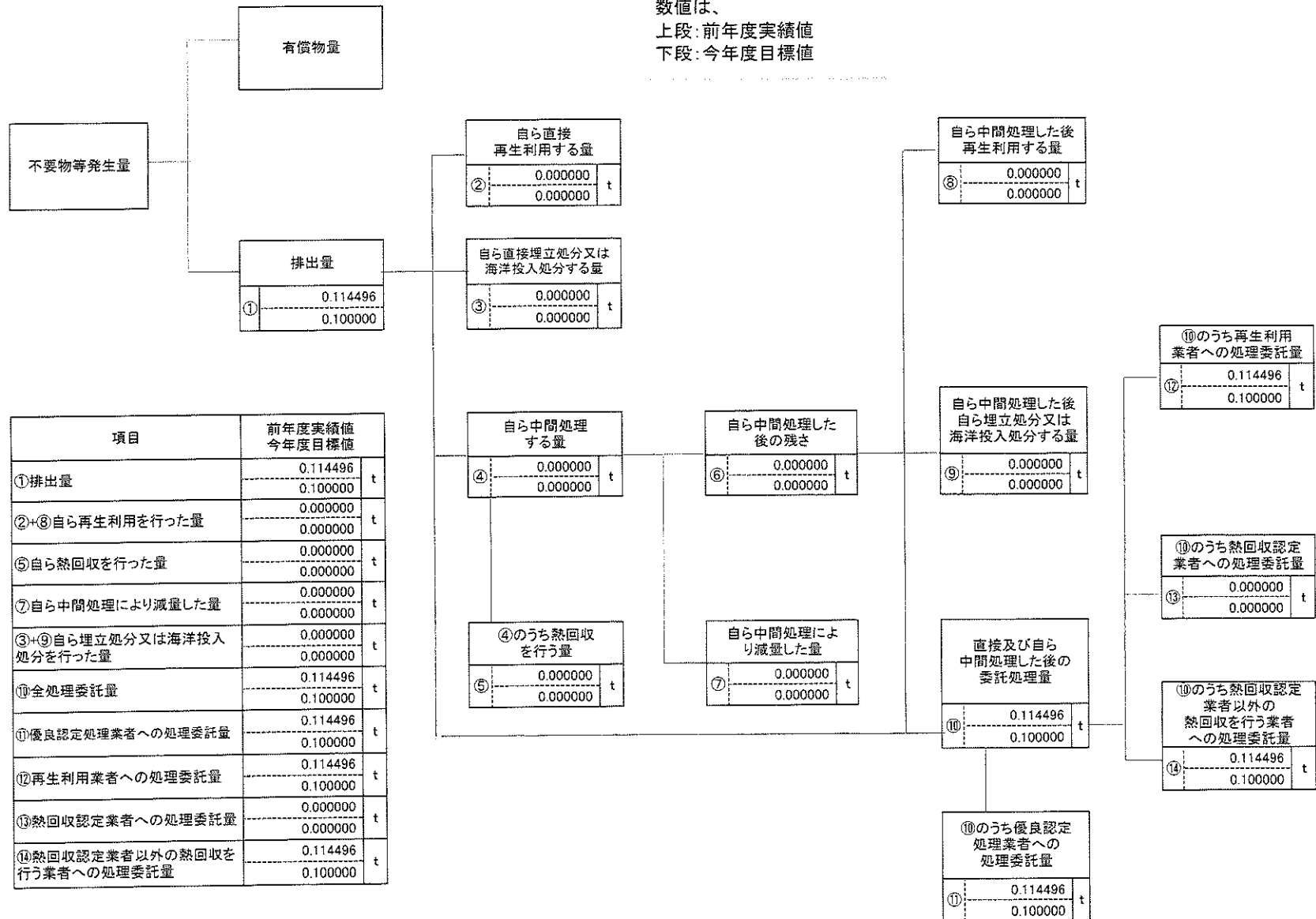
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙4】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃油(試薬))

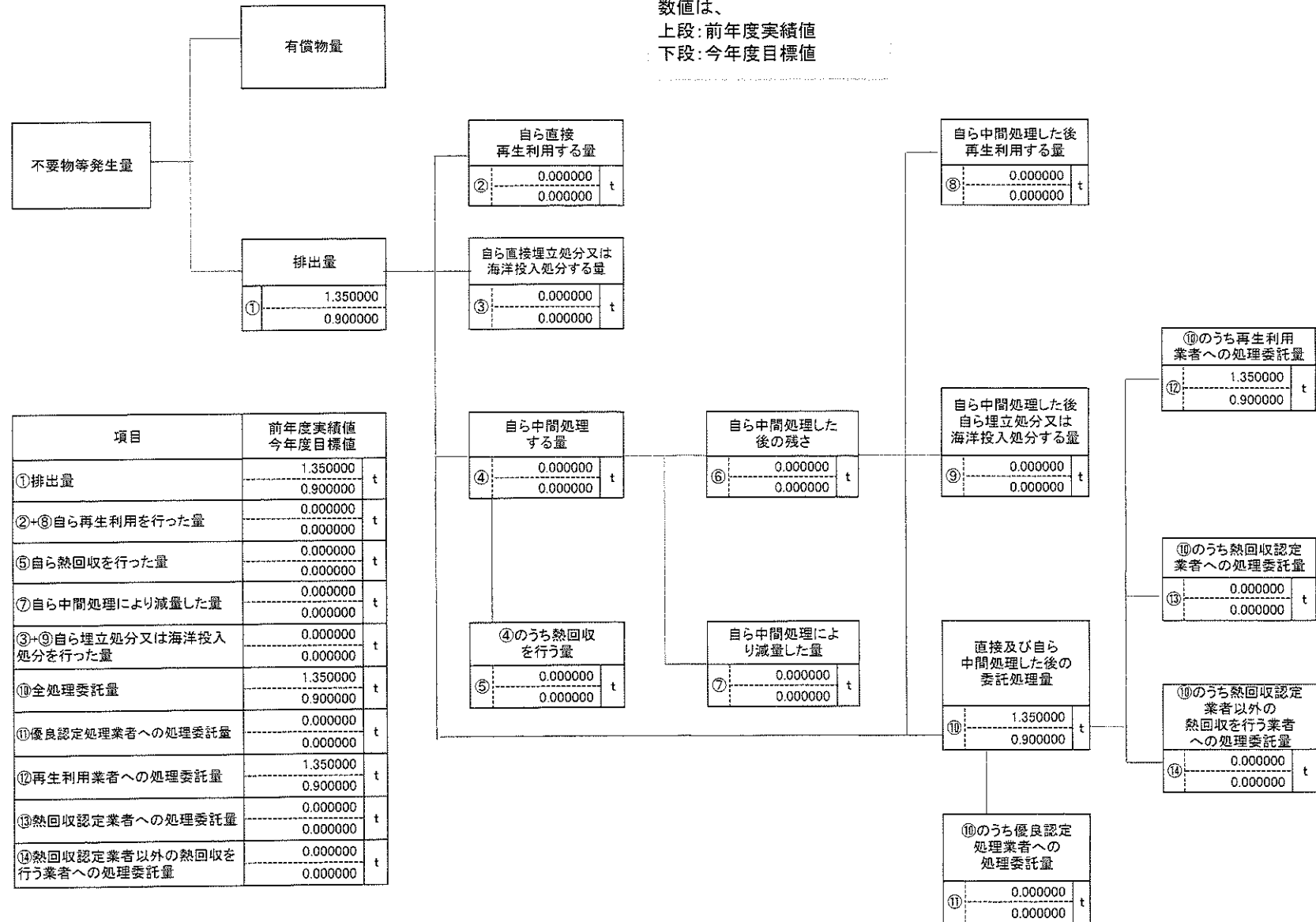
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙5】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃油 (潤滑油))

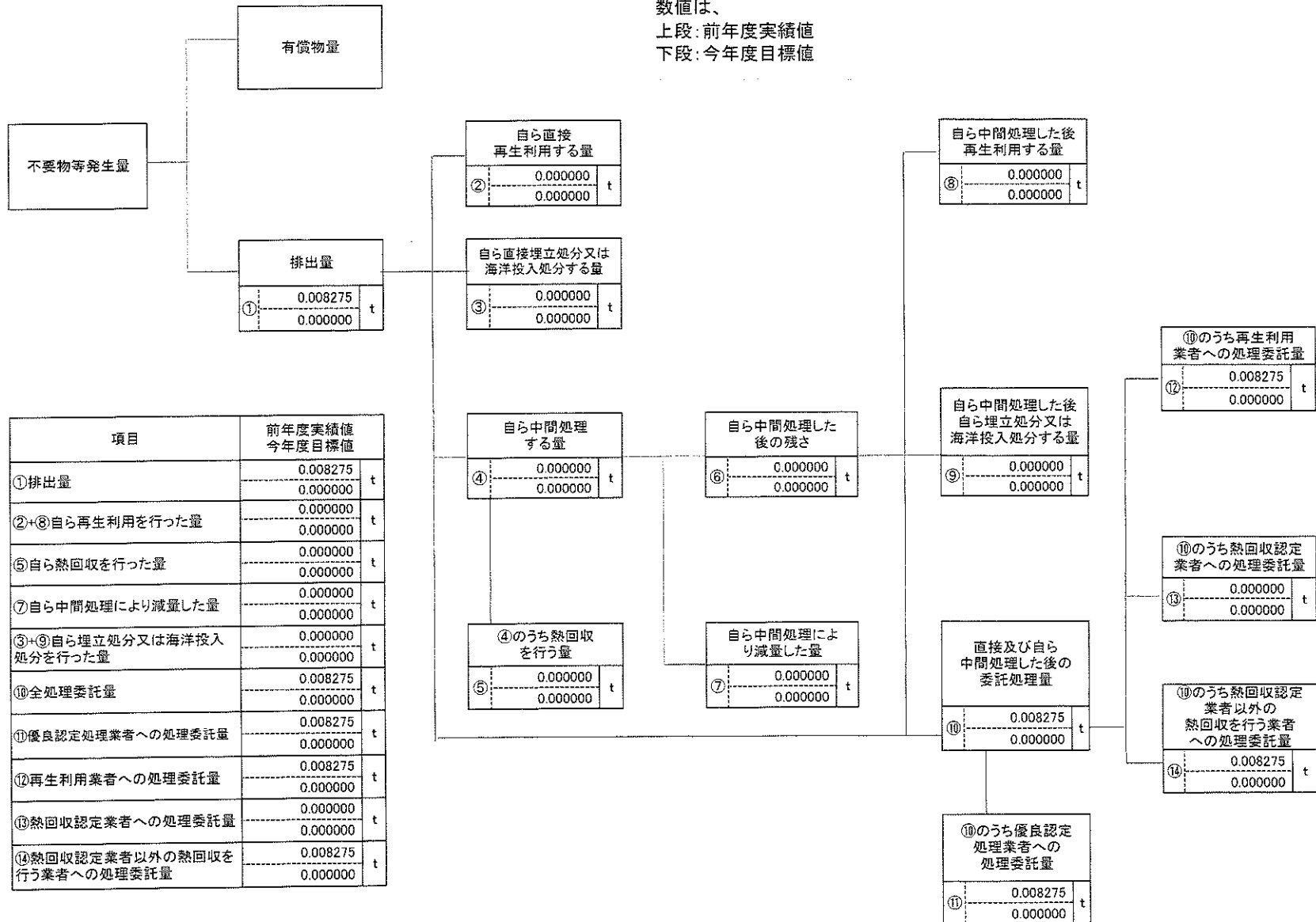
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙6】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃酸 (試薬))

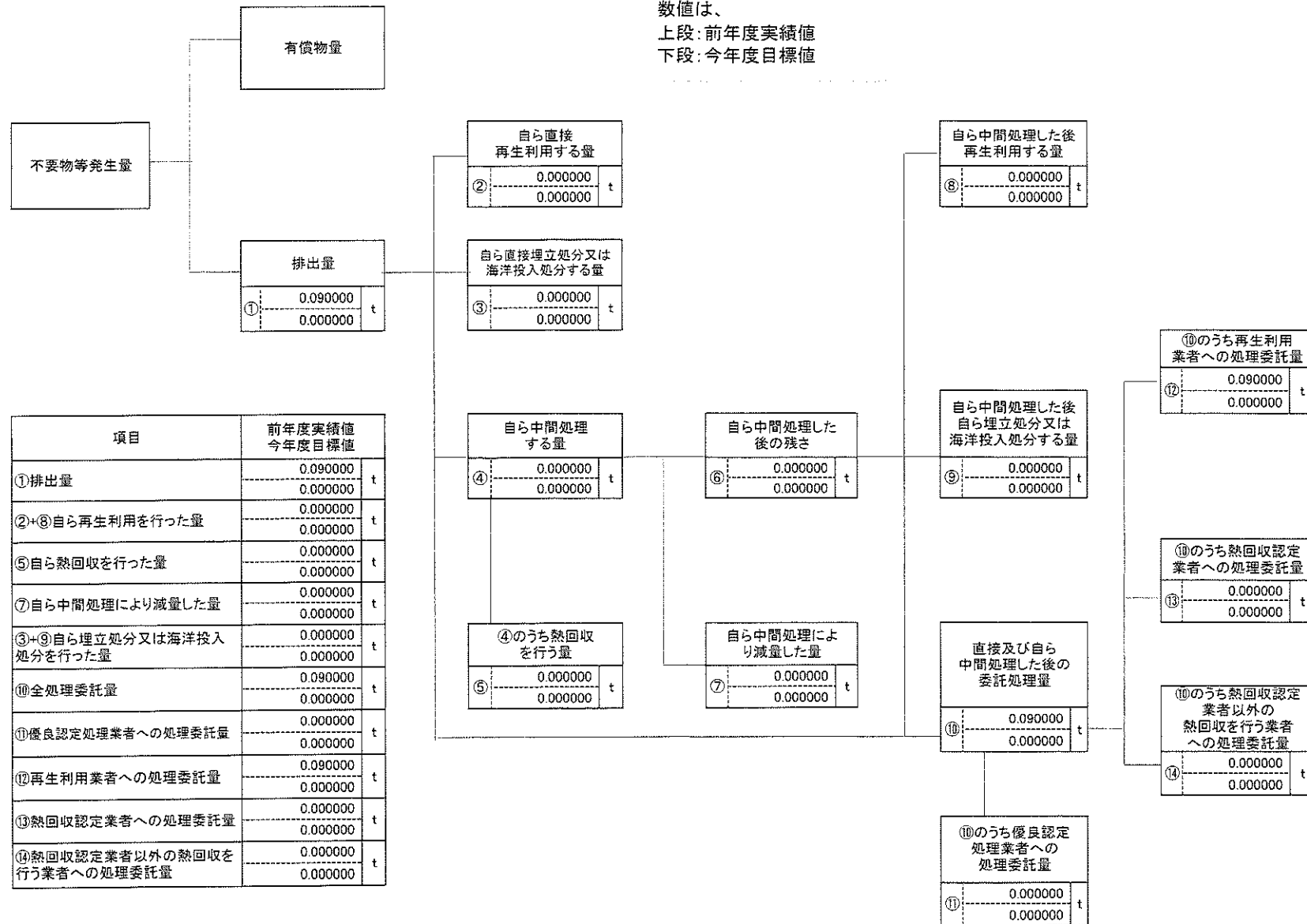
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙7】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃蛍光灯(水銀灯))

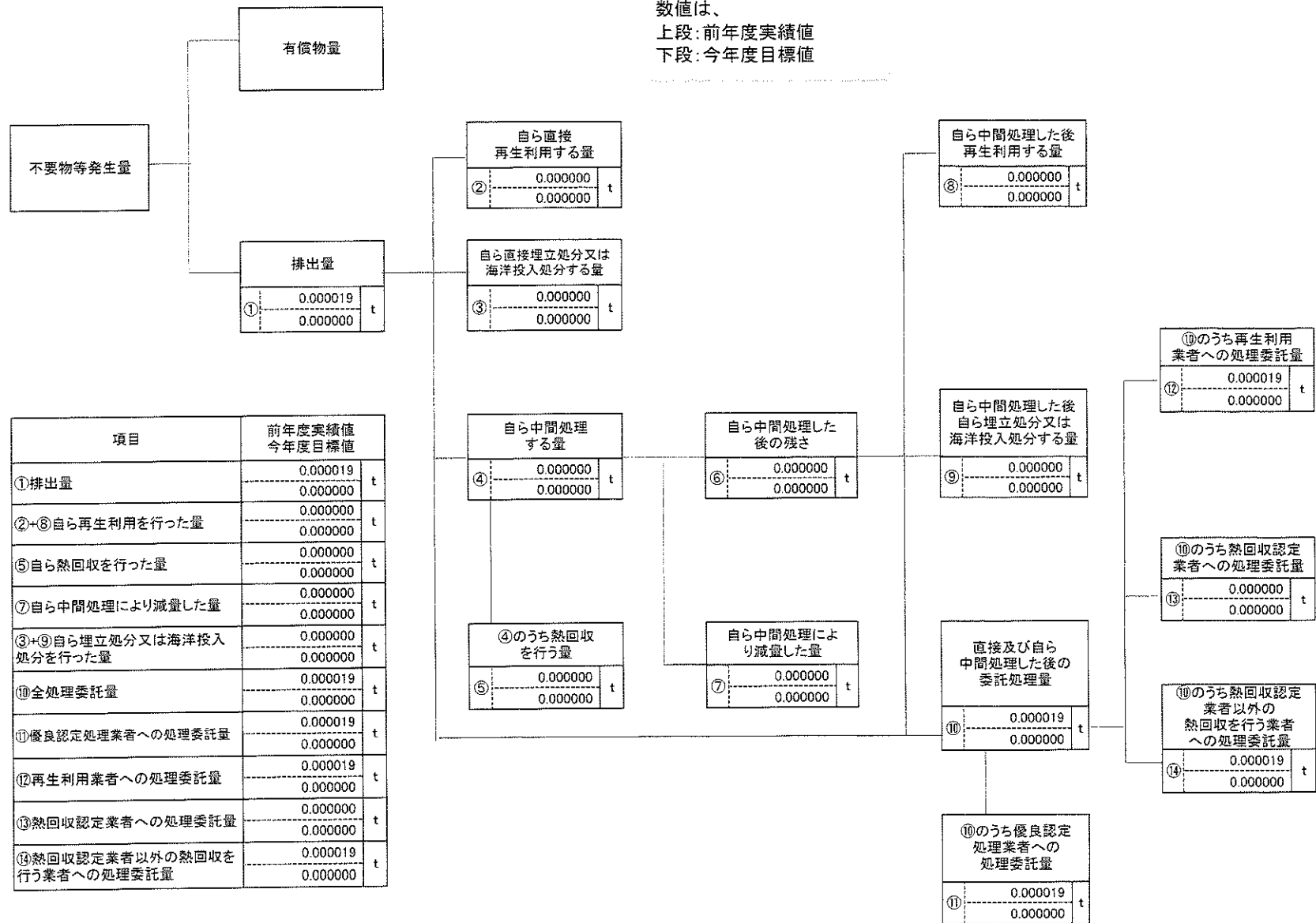
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙8】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ (試薬))

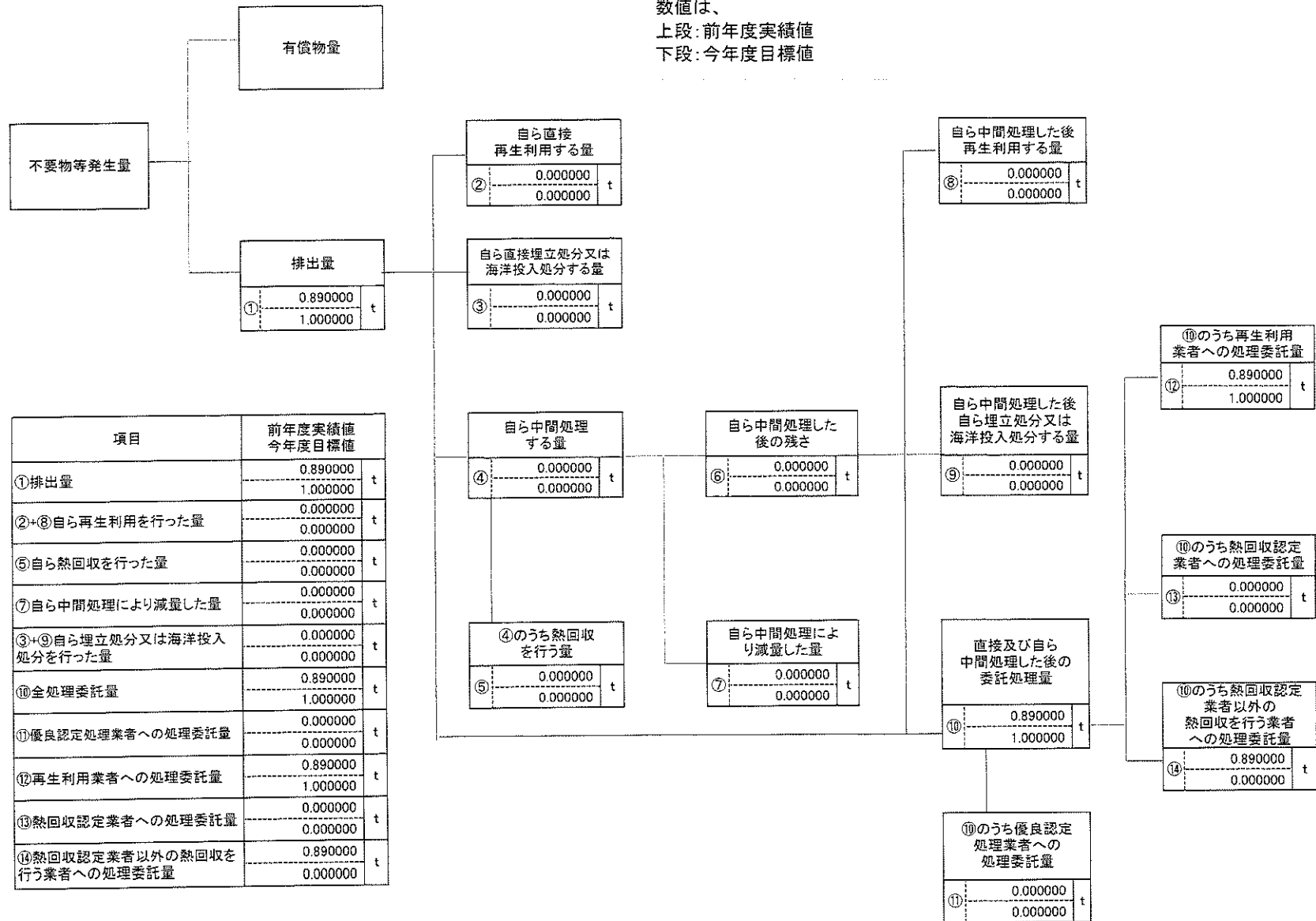
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙9】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(混合プラスチック))

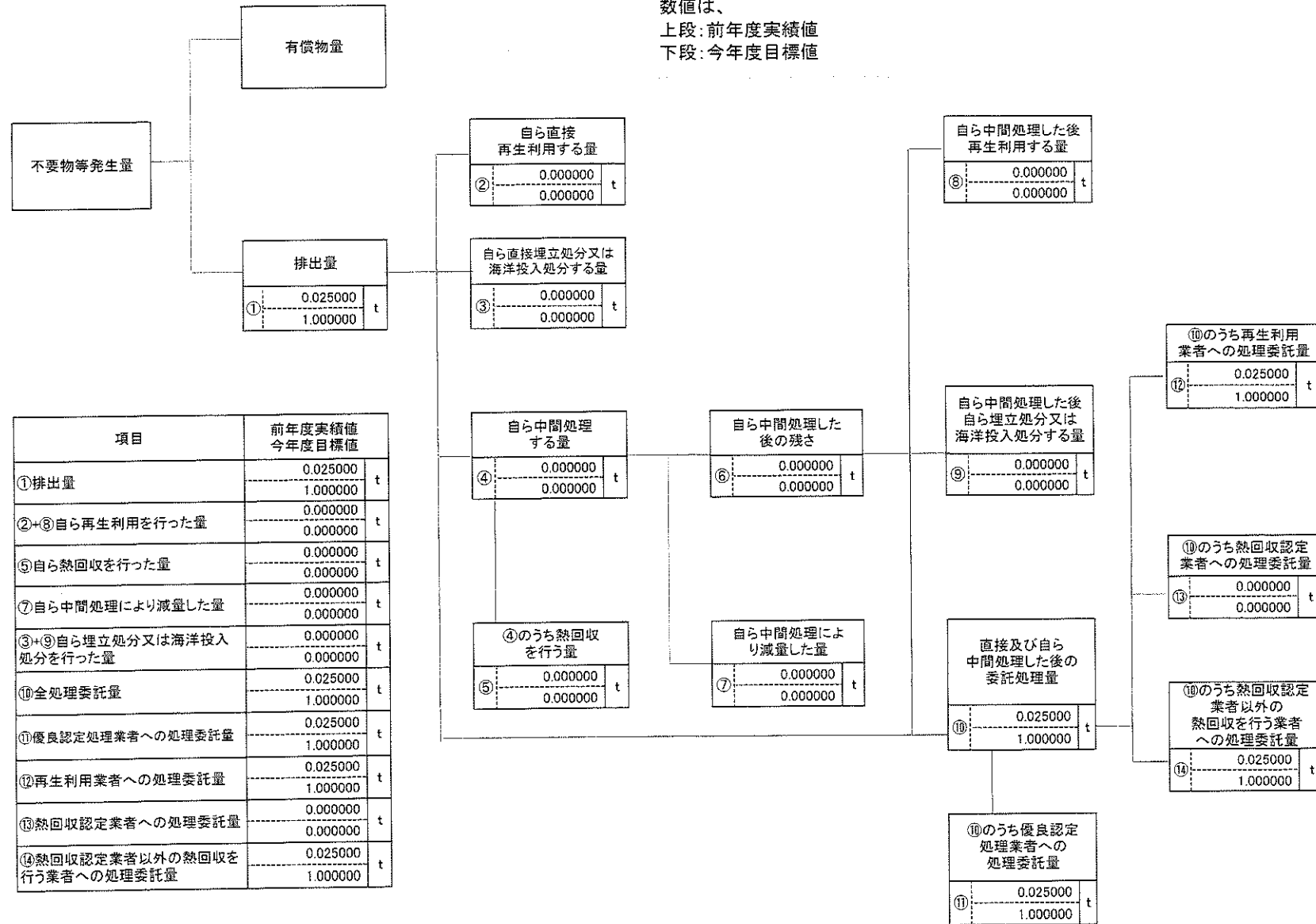
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙10】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

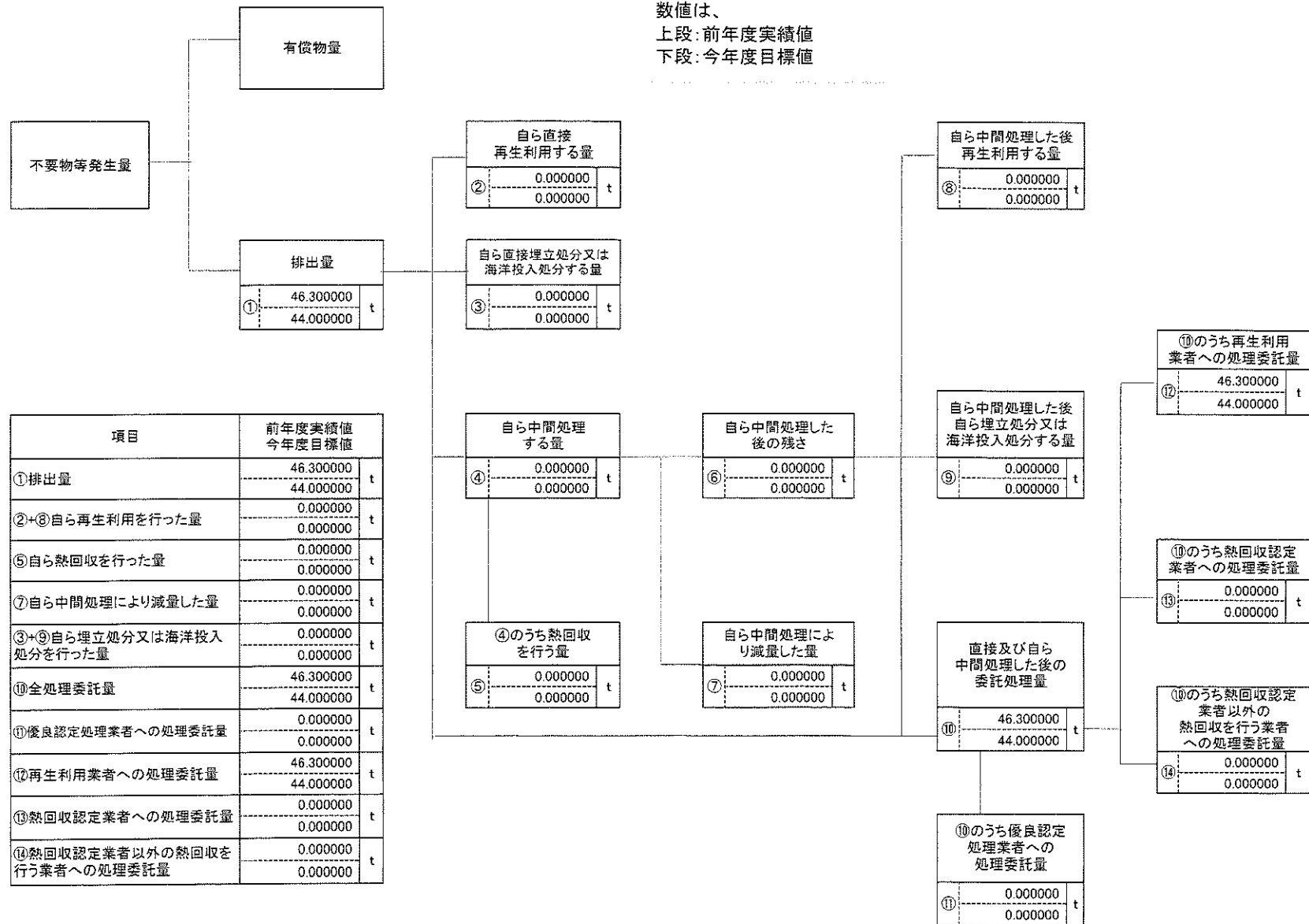
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙11】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(硬質等))

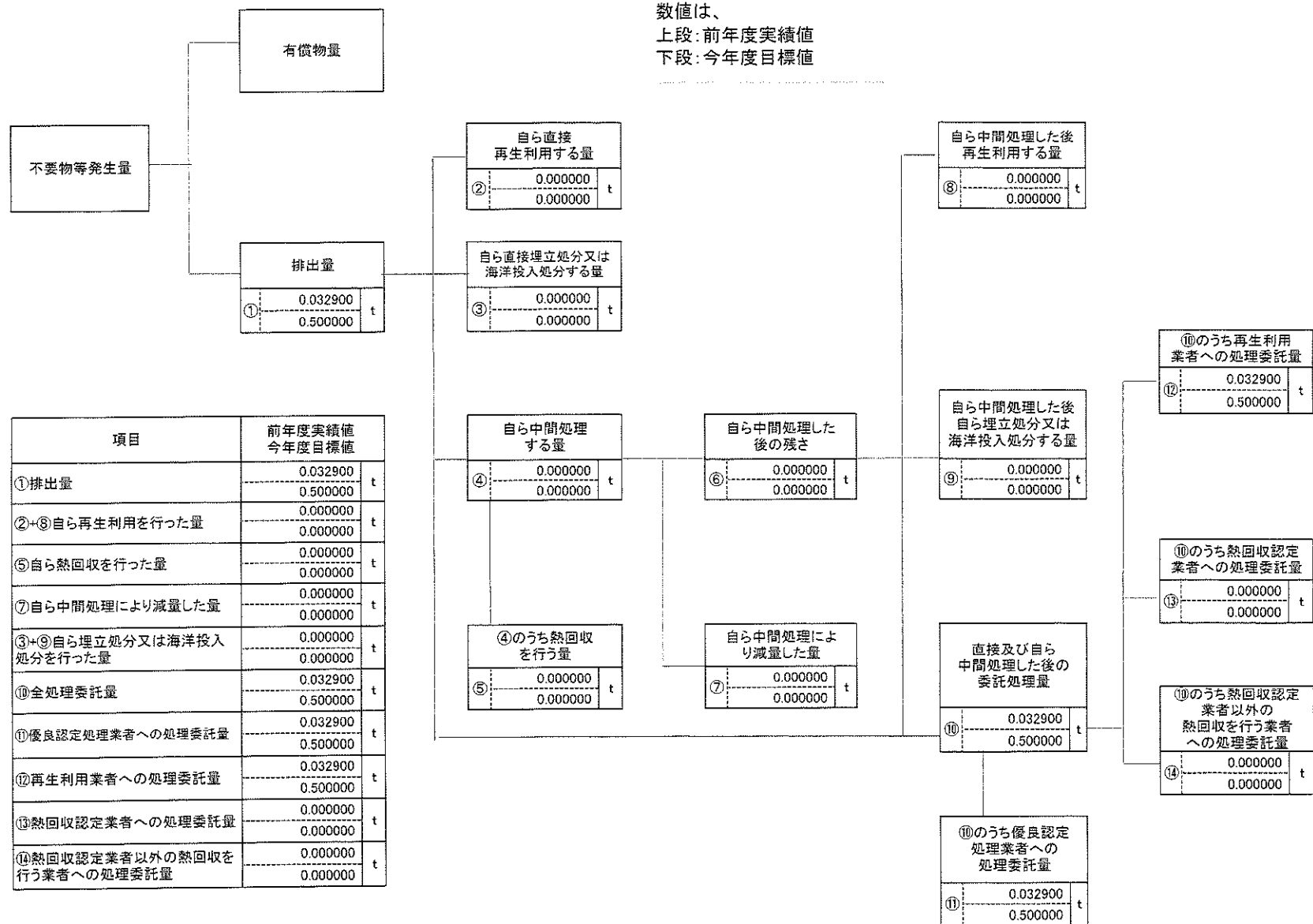
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙12】今年度の計画

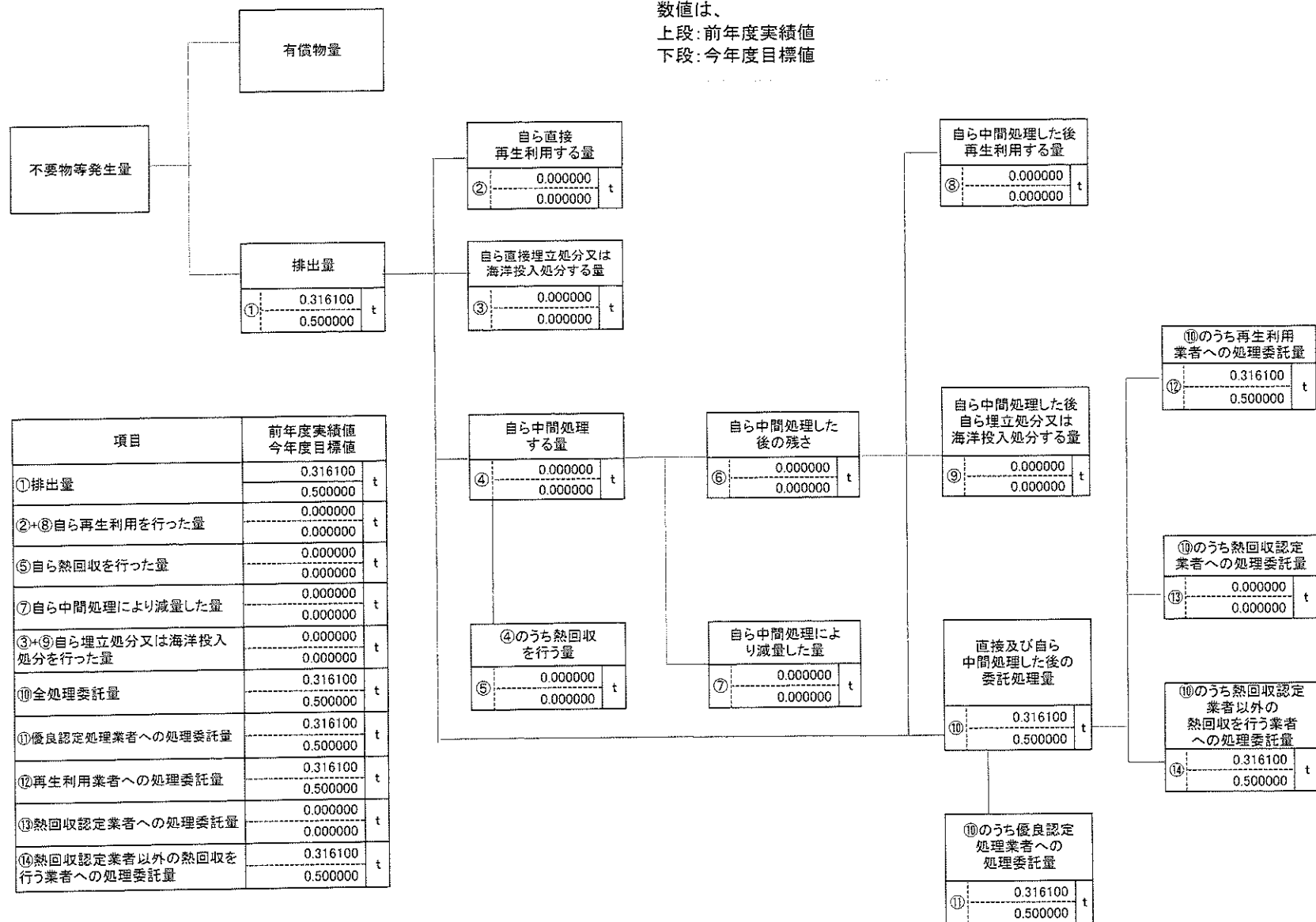
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(水銀付着))

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



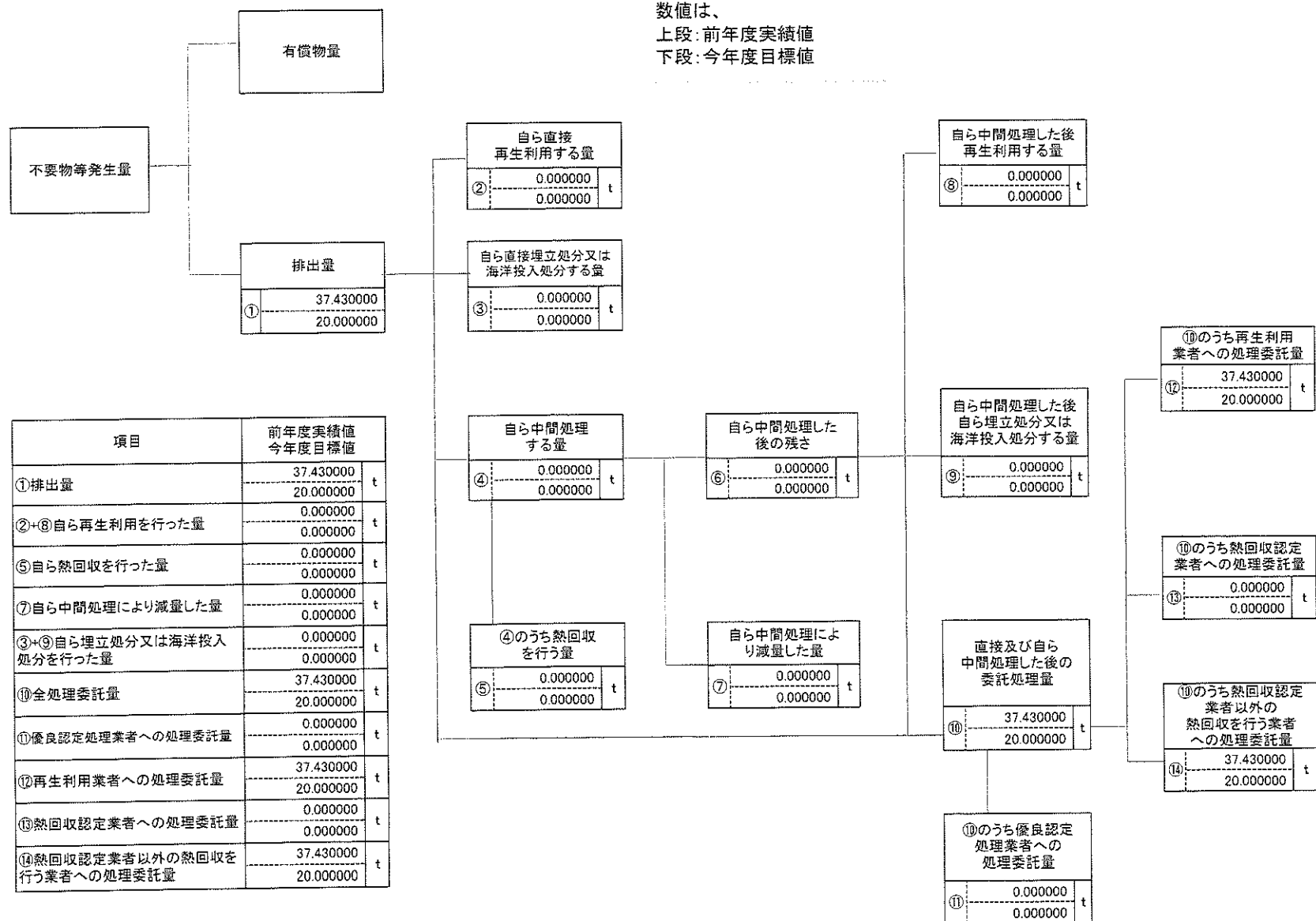
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(試薬))

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 動植物性残渣(製品廃棄))

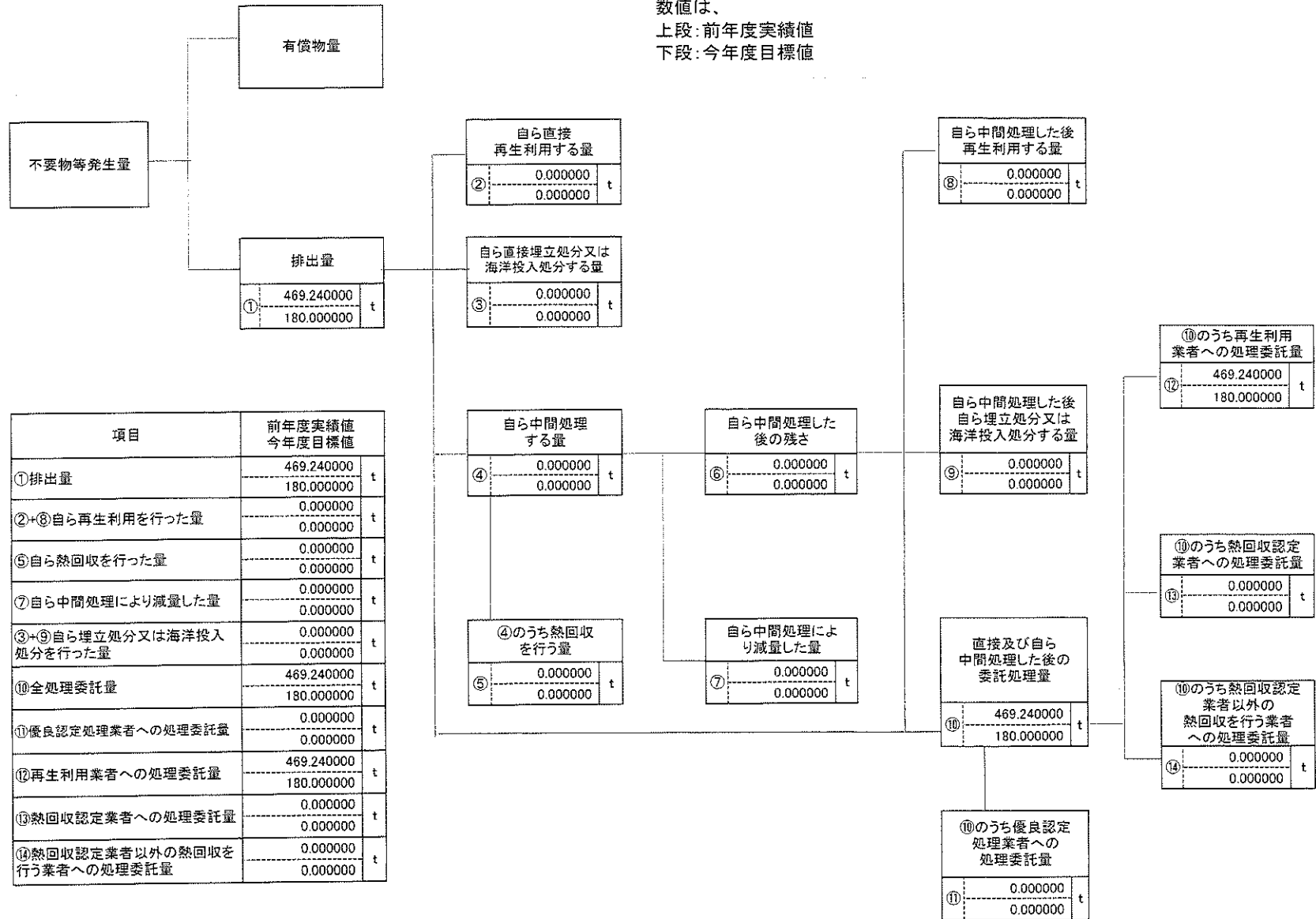
数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



【別紙15】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:動植物性残渣(製品廃棄))

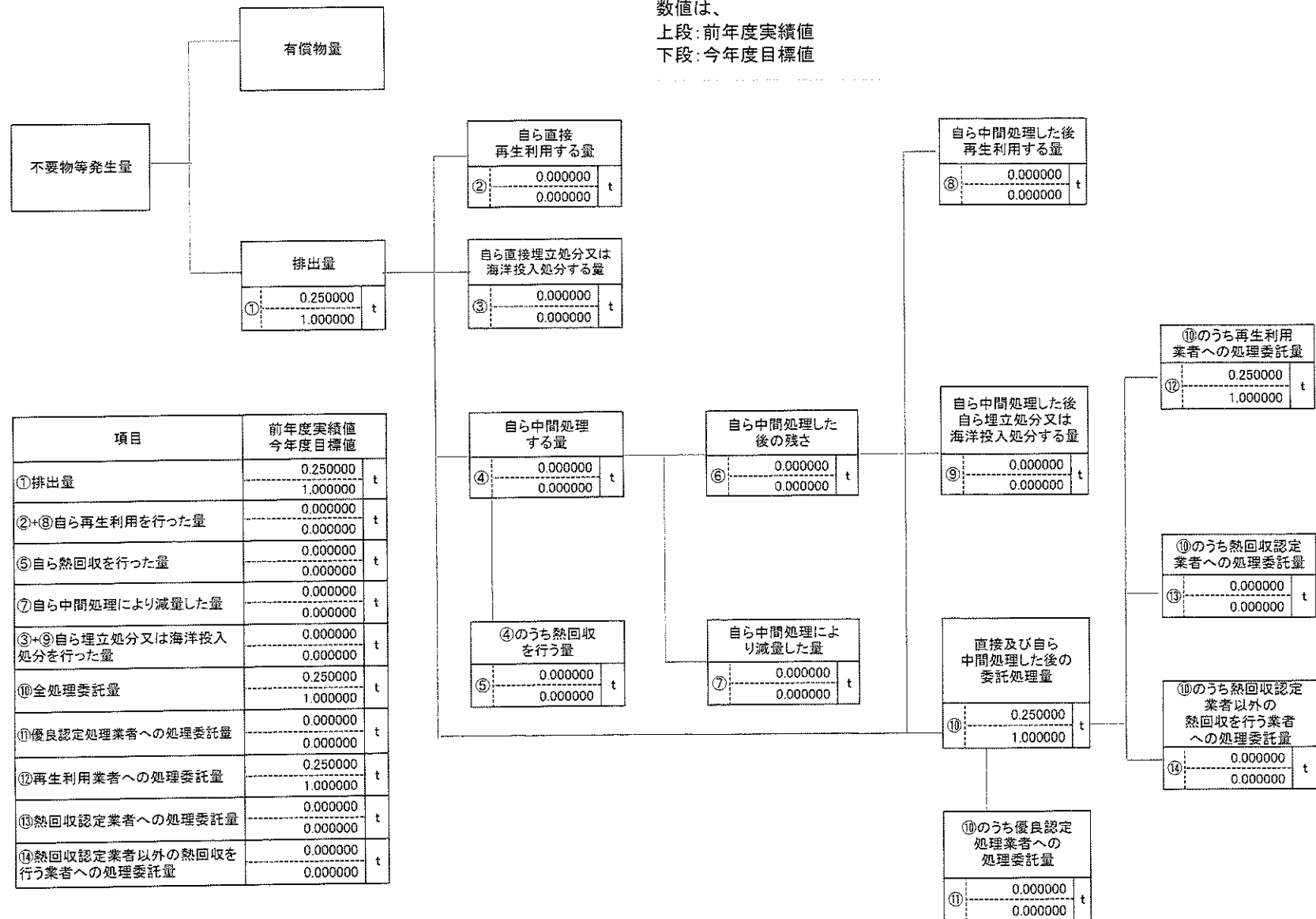
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙16】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:金属くず)

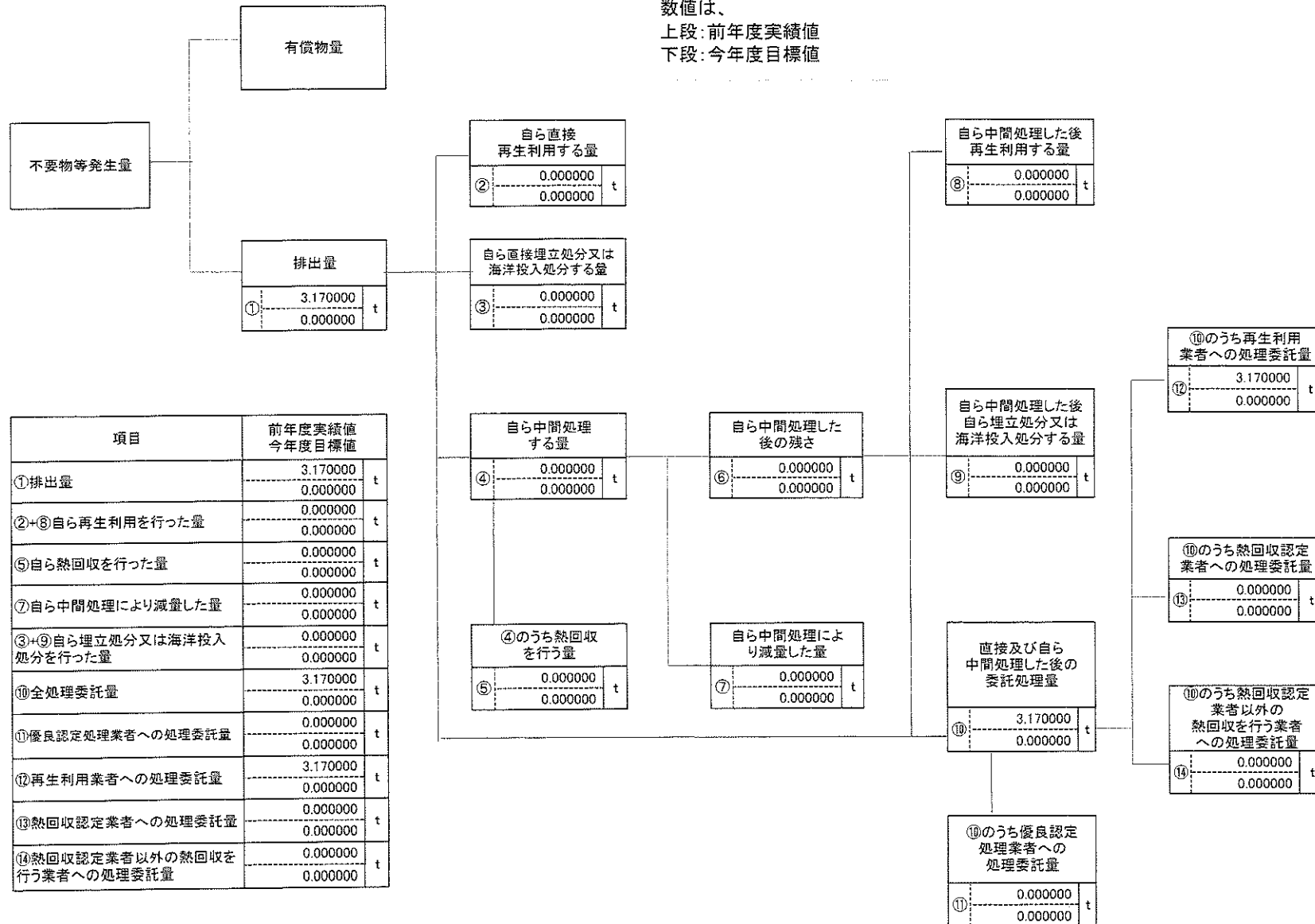
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙17】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラ)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙18】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: ガラスくず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

